

無線第六分隊編成

分隊長 陸軍兵長 谷津尚行

陸軍兵長 佐藤又一

昭和三十九年七月二十日午後八時(多岐支隊) 幹 上 島崎秀一

陸軍一等兵 菊地武正

陸軍二等兵 橋田英雄

合 宮本勝郎

合 江崎澄男

合 田口好美

合 山田榮治

合 岩佐一平

昭和十九年七月六日動員下令

出戰準備 器材整備 環境整理

七月十二日二時 東安驛出發(輸送貨車)

七月十六日一時 釜山着 釜山鎮廠舎に宿泊

七月十七日九時 釜山港 出發

七月十七日十七時 博多港著直に福岡西新國民学校に宿舎(行軍)

爾後器材整備戦闘放線實施

七月二十日 九州福岡地区に於ける空界偵察實施

七月二十日 司令部、山第三四八三部隊(輕重)間、通信網構成ヲ

命せラル(山田二等兵及部、為メ就寢中ナル七分隊行動スルニヨリ

連行セラル)

七時四分博多驛發、久留米に在ル第三四八三部隊に

到リ連絡ヲ開始ス



月日及天候	七月二十五日 晴
空界ノ状況	一時ヨリ五時ノ間空電大ニシテ受信困難連絡不能ナルモ爾後空界極メテ良好ニシテ疎通極易ナラシム
通信諸元	前日ニ今同
通信實施	奔信三通
著信	四通
器材ノ状況	一五時一五分奔電機故障閉所報送信不能 帰隊後修理セリ(ニ七日一〇時三〇分)
人員ノ南ニ事項	島崎候補生大坂中尉ト共ニ七時荒木驛奔列車ニテ帰隊セリ 人員皆無事ニシ
備考	一五時一五分奔電機故障トナル中全員故障恢復ニ努力スルモ其ノ甲斐ナク其儘帰隊セリ。

昭和十六、四、奉天同盛盛船

昭和十九年七月二十六日帰隊命令ヲ受ケ久留米山第三四八三部隊ヨリ二十時帰隊セリ。
分隊長(奉天滿洲五九九部分遣中)二十六日部隊ヲ追及シテ本日到着セリ、依テ分隊長ニ南スル事項等ヲ申シ送りセリ。
二十七日
兵団進駐ノ準備 器材整備(奔電機故障ノ刷子保持器、絶縁破壊ニ因ルモノニテ本日修理完了セリ)
器材梱包完了(ドラム鐘使用)
六時三〇分福岡西新國民学校出奔博多驛ヲ経テ
門司港ニ至ル 門司廳立高等女子学校宿營
二十日—三十一日
輸送船(梱包積込作業(対馬丸))
八日
門司港奔一路目的地ニ向ヒ輸送船團ハ行ク

作務備入官記  
三六十月  
三四七五部隊は  
320

八月一日—八月五日

輸送船対馬丸(大坂中尉駐在無線一分隊、無線三分隊便乗)  
輸送指揮官 山三四七五部隊長(北郷大佐)  
対潜対空ヲ嚴シ航行中數回ニ亘リテ訓練ヲ演練  
セリ、海軍艦艇及ビ飛行機ヲ護衛ヲ受ケテラハ航行ハ  
強味ニシテ全ク感謝致ス處ナリ。

八月五日—五時

沖繩島中頭郡渡具知海岸ニ上陸セリ  
同日及ビ六日輸送船ヨリ梱包ノ卸下(同地ニ露營)

八月七日

嘉手納農林学校ニ宿營セリ、雨後現在地ニ於テ  
輸送回ノ器材整備並ニ休養ヲ實施ス  
分隊員殆ド下痢ヲ催シテ居ル状態ナリ。  
(特ニ田口、橋田二等兵)

昭和十六、四月、奉天同業會社

昭和十九年八月十日

陸軍二等兵 橋田英雄 宮本勝部、江崎澄男、田口好美、  
山田榮治以上五名  
陸軍一等兵ヲ命ゼラレタリ。

八月二十日—四時

試験送信ノ爲メ名護四十四混成旅団(五号機)ト實施ス

通信諸元

名護 4451E  
嘉手納 4451S  
ホシ

感度良好ニシテ混信ナレ翌二十日再ビ送信セリ

八月二十三日

嘉手納農林学校(時)喜名一六〇高地山三四八二部隊  
陣地へ進駐セリ、爾後現在地ニ露營陣地作ニ着手セリ  
橋田田口一等兵「赤痢」ノ疑ヒテ以テ嘉手納(医療室)ニ送付  
セリ。

作務備入  
山三四八二部隊は  
DTL

陸軍

山3478 俣  
24 援部

昭和十九年九月五日

依命ニ依リ山第三四七八部隊小山大尉ノ指揮スル新炭  
採集隊(安波)ニ配属司令部(嘉手納)及安田作業隊ト  
三所一系通信連絡ニ任ズ  
尚暗躍手トシテ山第三四七六部隊ヨリ松本仁一等兵  
當分隊ニ編入ナル  
(人員ノ都合ニ依リ橋田田口菊地江崎一等兵ハ残留トシ  
第七分隊ヨリ山崎一等兵加入ス)

作業期間

第一期

自九月十日  
至十月十日

第二期

自十月十日  
至十一月二十日

昭和十六、四、奉天同前盛納

九月五日 水曜日

晴

分隊川筋	弁名一六。高地七時四〇分出發。嘉手納八五〇着 二而比小山大尉ノ指揮。下ニ新炭採集隊ニ配属 司令部(嘉手納)ト通信連絡ニ任ズ
命令報告事項	嘉手納一〇時出發。石川一三時四〇分到着宿泊セリ 無敵隊長。嘉手納司令部ヨリ新炭 採集隊小山大尉ノ指揮ニ入り緒方分隊。佐藤分隊 (五号機)トヲ統制シ三所一系小山大尉ト嘉手納内、 通信連絡ニ任ズベシ
人員昇降事項	新無敵隊才六分隊編制。長谷津兵長。佐藤兵長 山崎一等兵。山崎一等兵。岩谷二等兵
備考	

陸

軍

九月六日 水曜日 曇

空界ノ状況  
曇多クナルヲ以テ空界電線ノ感度ニ良好ニシテ受信困難ヲ感セリ

通信諸元  
マニヤ(嘉手納)ヤノ(名護)間ニ所一多キリ  
M.3.4 1860 3950 M.4.7 送信時間 01.00 03.00 05.00 07.00 09.00 21.00

通信実施  
兼信三通

著信十ニ

器材ノ状況  
送受信機ノ異常ナシトモ湿度計等ハ下層ニ為リ感度不良  
人員ニ尋テ事項  
全員無事任職ニ到着志気極テ旺盛ナリ

分隊リ勤  
石川六時三十分兼第三幸運丸ニ便乗シ安波ニ向テ

安波一三時三十分到着 一八時安波不夜学校教室ニ

通信所ノ用設セリ

備考  
用設後空界ノ伝送実施 二時对所ト連絡完了セリ

昭和十六、四、奉天同前盛船

九月七日 木曜日 晴

空界ノ状況  
晝夜向海空界大ニテ对所感度出得ズ不良ナリ

通信諸元  
前日ニ合シ

通信実施  
兼信一通

著信十ニ

器材ノ状況  
送受信機ノ異常ナシ

人員ニ尋テ事項  
全員志気旺盛殊ニ暗部書界ナリ

備考  
通信所ノ用トシテハ船形天幕受領シ安波不夜学校

裏山ニ用設セリ

陸軍

空界ノ状況	九月八日 金曜日 大詔奉戴日 晴 晝夜同混信ノ空界大ニシテ受信困難ナリ
通信諸元	不明日ニ今迄
通信実施	一斉信ナシ
著信	一斉信ナシ
器材ノ状況	送受信機異常ナシ、十六時一斉受信機故障 故障回復ニ勉ムルニ能ハズ、機械修理ヲ要ス 人員志氣旺盛ニシテ暗算書異常ナシ
人員ノ準備	一斉受信ノ故障ハ慶々有リタルニ今般ハ後ニ 修理不能トナシ、誠ニ残念ナリ然レ有ル手飯ヲ盡シテ 任務ヲ遂リタルニ努力セバナラナイ、 谷津兵長、山崎、高村一等兵、一斉初機修理ノ為 部隊ノ出張ノ予定ナリ、

昭和十六、四、奉天同通信部

空界ノ状況	九月九日 土曜日 晴 晝夜同空界混信有ルニ疎通良好ナリ
通信諸元	一部変更セリ マニヤ、クサノ三九五〇R スタテケサン三九五〇R
通信実施	一斉信 二通 著信 三通
器材ノ状況	送受信機異常ナシ、一斉受信機異常ノ為メ電池ヲ以テ使用セリ 谷津兵長外三名出張中、外人員暗算書異常ナシ
人員ノ準備	電池使用シテ送信スルハ今回始メナリ、疎通良好ニシテ 一斉受信ヨリ電圧由、対所へ感度ニ良好ニシテ効果アルモ 電池ノ消耗ヲ恐レリ、現在量カレ爾後受信不能トナルヤ 分隊長以下ノ帰隊スル日延通信ヲ杜絶セバ又可ク 分隊長一同日夜努力シアリ、特ニ電池ノ使用ヲ嚴守 シテ節約ニ勉ム

陸軍

九月十日 日曜日 雨

空界ノ状況

混信空重大ナルニ疎通極メテ良好ニテクテ〇一ニテ  
元充分ナリ

通信諸元

前日ニ今レ

通信実施

弁信三通

著信十レ

器材ノ状況

送受信機異状ナレ

蓄電池ノ消耗甚レテ特ニ低圧七〇ハ電流一A大ナルメ

直列ニ七個使用セリ、受信機用電池Aニ、Bハ使用

人員ニ事ノ事項

谷津少長外三名本張中外人員増補書異状ナレ

備考

昭和十六、四、奉天同通信始

九月十一日 月曜日 晴

空界ノ状況

晝夜間混信空重大ニシテ対所感捜出レ得ズ

通信諸元

一二付ノ変更スルニ一七時混信為メ再ビ変更セリ(三九五〇比)

通信実施

弁信十レ

著信一通

器材ノ状況

送受信機異状ナレ 送信部電源 高圧四六〇V低圧八マ

受信部電源 高圧八二マ六三〇V低圧二七マ

人員ニ事ノ事項

谷津少長外三名出張中外志気旺盛ニシテ暗号書異状ナレ

備考

対報暗号書乱数表数冊有ル為メ使用ヲ間違ヒ対所ニ

対所ニ手教ヲ掛ケタル事深謝スベキモノナリ、

ホフニラ送信シタル事改ナリ、多忙トハ云ヘテラ手違ヒデ

陸軍



空界、状況	九月十二日 水曜日 晴
通信諸元	晝夜同共感度良好ニシテ特ニ十七時ノ交信ハ 一為感度良好ニシテ疎通極メテ良好ナリ 二則日ニ今ヨ
通信実施	弁信 二通
著信	ナシ
器材、状況	送信機弁振不能 低圧ハVアルモ負荷高ト電流 使用大計電流急ニ低下シネオン管負火セズ低圧 電圧ハ有ルモ電流少キ為弁振不能トナレリ 谷津兵長外三名出張中 人員増減書状況ナシ 経理部ヨリ消耗品受領セリ
人員、備考	
備考	

昭和十六、四、南天同船記録

空界、状況	九月十三日 水曜日 晴
通信諸元	混信空電大ナルモ交信可能ナリ スタテ、ケサン同ニ。時ニ時、交信、ミ一八分際ニテ実施 マユヤ、ケサン同前日ニ今ヨ
通信実施	弁信 二通
著信	五通
器材、状況	送受信機 異状ナシ 電池新規交換 谷津兵長外三名出張中 外人員増減書異状ナシ 無線少海長ヨリ 連絡中、分隊長三名出張セリ スタテ、ケサン、同ノ交信ハ水晶無キ為メ爾後スタテヨリ ノ交信一八分。比トセリ
人員、備考	
備考	

陸

軍

空界ノ状況	九月十四日 木曜日 晴後雨 晝夜威度良好ナルモ、夜間二〇時ヨリ三時向 空電大ニシテ受信困難ナリ、天候ニ依ル影響大ナリ
通信諸元	前日ニ今比
通信実施	弁信 一通
著信	五通
器材ノ状況	送受信機 異状ナシ、副受信機 電源消費甚ニ付キ B-A-1ヲ追加使用セリ
人員ニ関スル事項	谷津兵長 山崎玄本一等兵 部隊連絡ノ為メ出張中 外人員 贈躰書異状ナシ
備考	無線隊長ヨリ、無線隊長ヲ教へ取通シ嚴守スベシ 無線隊長ヨリ、次ノ連絡便有リタテ交付(電送)スル故 連絡者ヲ差出スベシ

昭和十六年九月十四日

空界ノ状況	九月十五日 金曜日 雨 空電混信大ニシテ受信困難ヲ感ズ 雷鳴甚シク、時々及ヒフレンジ大ナリ
通信諸元	前日ニ今比
通信実施	弁信 三通
著信	四通
器材ノ異状	送受信機 異状ナシ
人員ニ関スル事項	谷津兵長 山崎玄本一等兵 部隊連絡ノ為出張中 志気旺盛ニシテ贈躰書異状ナシ
備考	一、二、三時三〇分安波地ニ豪雨ノ為メ浸水シ通信断 危険ニ陥リ全員ヲ以テ無事器材其ノ他異状ナク 持出シタリ 二、天幕流出セル中敵ヨリ兵數十名援助シ無事ナリ 三、浸水ノ為メ流失セル水ノ水裏一

昭和十六年九月十五日

九月十六日 土曜日 雨	
空界、状況	曇天、為分晝夜同共ニ空電大ニシテ受信困難ナリ 前日ニ今ニ
通信諸元	一 通信 二 通信
通信実施	著信 一通
器材、状況	送受信機異常ナシ 電池接觸紐断線ニ付修理セリ 全員志気旺盛ニテ暗號書習熟ナリ
人員三尋不事項	谷津兵長、山崎中本一尋兵部隊連絡ノ為出張中
備考	一 通信所浸水ノ為メ学校教室ニ開設セリ 二 通信所用設地トシテ隊長ヨリ民家指定セルニ 適當ナラズ考慮中

昭和十六、四、奉天同善堂

九月十七日 日曜日 晴	
空界、状況	昨日ニ比シテ空電少クテ疎通良好ナリ 但シコトテ上昇セズ対所ニ感低ノ模様ナリ
通信諸元	一 通信 二 通信 送信時間ヲ追加実施セリ 〇九〇〇、一五〇〇。(但シ聯隊受信終了後)ノ二回
通信実施	一 通信 一通
器材、状況	送信機故障(電源接觸紐再ニ断線修理セリ) 外異常ナシ
人員三尋不事項	谷津兵長、山崎中本一尋兵部隊連絡ノ為出張中 全員志気旺盛ニテ暗號書習熟ナリ
備考	一 通信所選定中、處頭山家ト決定シ岩谷、山田一尋兵 ヲ宿泊セシメ通信所ハ以テ移転ノ予定

陸軍